

「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク 実現会議」の概要

目 的 等

地域の鉄道、路線バス等を面的なネットワークとして捉え、「ダイヤ」、「運賃」、「駅・停留所」、「車両」、「情報提供」等について、利用者の視点に立って見直し、ネットワーク全体を、すべての人にとって、より便利で使いやすいものに改善する。

（そのため、関係者が一体となって協議する新たな枠組み（実現会議）を設置（H17. 11. 30）し、
具体的な「改善実行計画」（中間まとめ）を策定（H18. 9. 19）

視 点

- 住民にとってより良い「生活交通」
- 観光を一層振興する「交通」

メ ン バ ー

地元（利用者代表、商工団体・観光団体代表）、有識者、交通事業者、旅行会社、
公安委員会、道路管理者、行政

改善実行計画の基本的な考え方

- 失敗を恐れずに、まず、モデル的・実験的に、できるところから改善に取り組む
- 公共交通を、事業者任せにせず、利用者も行政も一緒になって自ら考え、皆で良くしていく

改善実行計画の進行管理

- 改善を進める中で新たな課題が出てくれば、それらにも対応
- 地元が中心になって、適宜、状況を把握、フォローアップ会議等により検証、継続的に改善（P D C Aサイクルにより推進）

開催経過

- H17. 11. 30 第1回（会議の設立及び今後の取組を協議）
- H18. 3. 22 第2回（「改善の課題」と「改善の方向性」を協議）
- H18. 5. 25 第3回（構成メンバー拡充、「改善計画」骨子たたき台を基に意見交換）
- H18. 8. 7 第4回（「改善計画」素案を基に意見交換）
- H18. 9. 19 第5回（「改善計画」（中間まとめ）策定）
- H19. 5. 18 第6回（「改善計画」（中間まとめ）の実施状況（半年）とりまとめ）
- H19. 11. 9 第7回（「改善計画」（中間まとめ）の実施状況（1年間）とりまとめ、法定協議会への移行）
- H20. 11. 4 第8回（「改善計画」（中間まとめ）の実施状況（2年間）とりまとめ、国庫補助制度の活用、3年目実施課題整理）
- H21. 9. 15 第9回（「改善計画」（中間まとめ）の実施状況（3年間）とりまとめ、直近課題への対応方策協議）
- H22. 3. 19 第10回（「改善計画」（中間まとめ）の実施状況（直近1年間）とりまとめ、KTR利用促進支援等協議）

HPアドレス：<http://www.pref.kyoto.jp/kotsu/tango.html>

〔参考：「改善実行計画」の主な内容（例）〕

(1) すみやかに改善に着手するもの【直ちに着手】

ダイヤ	昼間の時間帯を中心に、覚えやすい「パターンダイヤ」を導入
運賃	100円刻み等の分かりやすい運賃設定（京丹後市で200円バス運行）
駅・停留所	駅等に四季の花を植栽、美化活動 バス停の移設（弥栄病院敷地内にバス乗り入れ）
車両	ノンステップバス導入促進
情報提供	地図上路線図、乗換案内、起終点時刻等が一目で分かるような表示
その他	乗務員等のホスピタリティ向上

<先行実施例> 土休日ダイヤの設定：タンゴ悠遊号の運行（7/22～8/20の土日）→通年化
駅・停留所：網野駅前駐輪場整備・KTR各駅の観光案内板修繕（京丹後市）

(2) 中期的に対応するもの【概ね3年以内に対応】

運賃	鉄道・バス相互乗継ぎのできる共通割引乗車券
駅・停留所	駅のスロープの勾配改善

(3) 将来的な課題【期限は設けないが、改善を目指す】

ダイヤ	午前の早い時間に丹後に着く特急の運行（→前倒し）
情報提供	携帯電話を利用した情報提供

※ H20. 1. 18 本改善実行計画を「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく「地域公共交通総合連携計画」として国交省に提出